関西大學新報

発行所
関西大学新報社
大阪市大淀区長柄中通2
電話 (351) 2072
発行人　千神　国夫
編集人　水上　義博
（一部10）

古書全般売買
株式会社　天牛本店
南区道頓堀中座前
(211) 二七五八—九

またも授業料値上げ!?

断固反対を再確認

〝値上げは悪くない〟 理事長発言

理事会からの学費値上げに関する通達文

現理事会は、諸般の事情から学費値上げ止むなしと思料するが、たまたま現時点が理事会の改選時期にあたり、その任期は九月三十日に到来するので、学費に関することは次期理事会に申送ることとする。

またしても授業料が値上げされようとしている。これは九月二十六日、久井理事長から通達があったもので、これを受取った二部、一部学友会では同日緊急の執行委員会を開き、この理事者側の暴挙に対して絶対反対することを再確認して、直ちに反対運動を展開するための組織づくりと、一般学生の積極的協力を得るための情宣活動に乗り出した。

反対闘争委を組織

九月二十六日午前十時、関西大学理事会（理事長・久井忠雄）は、二部と二部両学友会執行部主脳を千里山理事会室に招請し、授業料を値上げする意向を明らかにした。それによると「現理事会では授業料は値上げするが理事会の改選期が九月三十日であるためそれを次期理事会に申し送る」という簡単なもので値上げ額、理由などについては一切これを明らかにしていないもの。

実質的な値上げ通達を受けたと判断した両学友会では、これに絶対反対するという従来からの基本的態度に立って、早速その白紙撤回を要求する闘争態勢に移った。

二部学友会の執行部では、同二六日午後七時から緊急の執行委員会を開き、この値上げ通告について討議した。

それによると今回の通告は、理事会の任期満了からくる改選期にあたる、という理由で簡単なメモ同様の紙片で示されたが、それらは改選期をうまく利用した理事会の悪らつな方法である。そして正式に値上げ理由は明示されていないが、どちらにせよ紛争舎の乱立などによる学校経営のひずみを解消する最も安易な方法である「学生の授業料値上げ」によってそれを埋め合せようとしているその意図は明白である。

また値上げ金額については、他大学の関係や今年の大学赤字予算などから総合して、二部では二万円以上、（一部では三万円以上）は下らないと予測され、もしこれが強行されたとすれば、二部学生の死活問題であることはいうまでもない。約二万円値上げされたとすれば来年度入学生からは現在の一、二年次の授業料二万八千円から四万円にはね上り、勤労学生は入学できなくなり一部受験にスベッた学生や、少々知能が低くてもブルジョア学生が大手を振って入学してくることになり、学生の質的低下は必至である。

以上のことから、本学の建学精神である「勤労者の大学」の中の本当の勤労学生の擁護のために値げの白紙撤回を要求し、これと断固反対することを再確認した。

今後の闘争方針としては、執行部を中心とした全学あげての闘争委員会を自治委員、個別パート（クラブ）一般学生から活動家をもって組織し、それを支えるものとして拡大闘争委員会を組織して揺ぎない闘争形態を組む、ということに執行委員会で決定した。

また一昨年の授業料闘争の敗地を再び厳しく反省し、失敗を繰りかえさないように闘争の経過いかんによっては最悪の場合授業拒否闘争に移る、などかなり強行なところを確認しあった。

30日に緊急自治委

今度の授業料値上げ問題に対処するため、九月三十日午後七時から

有鄰館規定

まだ効力なし

悪質な学生部のやり方

十六日付で告示された。

これは殴り込みから学生部と学友会執行部の間で、その使用管理をめぐって数回にわたり協議してきたが、夏季休暇明には一応その概要ができあがった。そこで和田学生部長がほぼ完成した規定を「文章的に完成させ後日執行委員会に提示する」ということで休暇に入ったが、その間に学校側のいう完成させた規定を木原執行委員長一人に見せ、その場で承認させたのである。

この問題は木原委員長が単独でこの重要要件をOKしたのもさることながら、「文章的に完成させる」といったにもかかわらず、文の内容まで大きく修曲していた。学校側の暴挙はすさまじい、この事実に対し、学生の中にはこの有鄰館規定は有効でない、とするものも多く、本来、この会館は学生のための会館であり、多くの学生の利用が望まれるものであるが、この規定内容の大きな歪曲により、学生の使用上に大きな制約が加わってくる可能性を多分に含んでいるものであり学生規定、生協問題とともにからんで、今後のなりゆきが注目されている。

ま ず

ホールに販売所

対学校交渉で難行

生協問題

今年の学友会活動の中でも、当初最も注目を集めていた二部にも生協（生活協同組合）を作ろうとする運動は、生協設立準備委員会が中心になって進められてきたが、今回その第一段階として学生ホール一階に予備調査部を設ける線で学校当局と交渉を重ねている。

ところが、一部に既存する関大生協に二部も加入する、ことを前提とした態度でのそんでいる準備委に「二部単独で作った方がよい」とする学生課（学校側）の気持が衝突し、最初予定していた十月初旬から開店の計画は難行している。

準備委では「一部生協の力強いバックアップのもとに、二部の特殊条件を配慮し会館におきながら生協設立への第一歩としての購売部を設け、書籍（教科書）、衣料品などの販売を行い、学生への実践的PRと市場調査を行おうとするものである。

授業料値上げの緊迫の中で、準備委では一刻も早く学生の生活を守るための生協設立に迫られており全学生の積極的協力を望んでいる。

現在生協準備委の二部生協実現のための方向として打ち出している一部関大生協に加入ということは次の理由の上に成るものである。

一、一部生協が生協本来の運営方針に立脚した運営が成されていること。

二、二部においては、時間的な問題、学生の所属する会社自体にそれを育しているので、学生自身の必要性がいかほどのものか、明確につかめていないとう点である。

後に残した問題点

新学生規定が発表さる

さる九月十六日、学生部では今までの学生規定を改定し、旧規定よりも相当簡単なものとして発表した。

これは前高木学生部長と二部自治会の面で検討され、和田学生部長のもとで原案ができ上った時、二部学友会に提示されたものであったが、したがって二部学友会は今期初めごろから、やっと部長の説明で原案を検討しはじめていたものである。このため今回の発表は、執行部および自治委員会での承認もないまま、執行委員長と第二学生課長の間で結論されたという見方が強いようで相当問題が残されている。

この学生規定は全学生の学内における基本的な態度を規制するだけに、その手続上の問題のみではすまないのである。しかも、新規定は旧規定よりも相当簡略化されているので運用解釈のいかんによっては今後いろいろなトラブルを起す危険があり、内容の慎重な検討を特に要するものである。

七回召集、四回流会

自治委員会の機能停止

九月十三日に招集された第七回自治委員会（議長・入江学部長四）は四十二名の過半数の定足数に満たないため、また流会した。同委員会には臨時学生大会の件と山積する当面の問題をかかえていたが、この流会ですべてはテスト明けまで持ちこしの状態。

今年の自治委員会は選挙後の第一回、第二回、および第四回（六月九日）の三回の改正をみたのみで第三回（六月六日）第五回（七月一日）第六回（七月七日）第七回（九月十三日）と四回が流会している。

このような現状を生む原因はただ自治委員の自覚のなさにあり、常時欠席の自治委員に対する措置に関しては、委員会の決議を絶対条件とし三分の二以上の賛成を得なければならない。

この発表で今回の学友会費値上げの問題は一応終止符が打たれたわけであるが、一部の自治委員が集めた約千名にのぼる値上げに対する抗議署名の措置、そして無効を発表した執行委員会の今後の出方が注目される。

木原執行委員長の話　今回の学生大会での学友会費値上げについては執行部内で検討した結果法至・続の不備から無効であったことを発表した。だからこの問題については、値上げをやむを得ない現状を学生諸君に訴え、十二月に開催予定の秋季学生大会に改めて完全な形で上提したい。

会費値上げ 反対集会開く

学生の集り低調

午後九時までの二時間にわたり学友会当面かかえているあらゆる問題に対して熱心に討議された。まず話題者名内容の発表があり、夏季休暇以前までの果計は全部で九百七十六名で、現在その照合中である。最後に同集会は、この署名運動のもり上りを採択した。

法的手続き誤まる

六月二十三日に開かれた今年の春季学生大会は、生協設立、規約改正など学内の活発な活動方針を決定したが、そのなかで、閉会まぎわに提案された現行五百円の学友会費を七百円に値上げしようとする案は、その賛否をめぐって激しく意見が対立したが、結局議案どおりにこれを可決し、事が重大なだけに問題を残していた。臨同決議に対して学友会執行委員会（委員長＝木原成人君・文四）は学友会費の値上げは学友会々則第五二条の定めるところにより、会則第四九条の改正として取扱わなければならなかった点を後日に発見。今回の無効発表となったもの。

注・【会則第四九条（会費）】この会の経費は会費で賄うこと

春の学生大会で決議された学友会費の二百円値上げに抗議する署名運動、クラス討議などを積極的に展開してきた自治委員有志による抗議集会は、さる九月十六日午後七時から地下第四教室で開かれた。例により一般学生の参加はテスト前を手伝って低調だったが、学友会費の値上げは学友会々則第五二条の定めるところにより、会則第四九条の改正として取扱わなければならなかった点を後日に発見。今回の無効発表となったもの。

注・【会則第四九条（会費）】この会の経費は会費で賄うこと

【会則第五二条（会則改正）】この会則を改正するときは自治

会費値上げ

反対闘争委

反対闘争委を組織

学費値上げ通告

学生無視の理事会

現在の私学の置かれている立場は、もはや過去の私的自由教育のそれではなく社会的公教育の重要な位置を占めているのである。この事実はもはや何人も否定し得ないはずである。にもかかわらずこうした授業料の値上げを行なうということは、前述の事情から考えて、あきらかに、私学自からの立場を放棄することではあるまいか、いや、それ以上に、われわれが基本権利として本来持っている教育を受ける権利を、事実上剝奪することではないか。

われわれ二部学生は、本学理事会が強行しようとする授業料値上げに対して、われわれのギリギリの生活権を守るために闘うものである。そしてこの闘いの中で今回の授業料値上げが私学経営の方法において、また手段において如何に、横暴かつ陰険な陰謀であるかを告発し、社会的な世論へも問うを辞すべきでない決意を明らかにしておきたい。

すでに学友会では、この事態に対処すべく、値上げ反対の意志確認を為したのであるが、時を移さず闘争委員会の組織化を急ぐと共に各パート間へも強力な呼びかけが始まる前期試験期間中に理事会に聞こられないよう、強力な一般学生へのアピールなどによって十分な値上げ反対の盛り上げを図り、反対闘争をいたずらに長期化しないよう提案したい。

学費値上げ通告

学生無視の理事会

本学理事会の任期満了は、最初から学生の立場を無視した横暴であり、学生をあざむく態度である。

そして理事会の無計画な学校経営に対する過ちを学生の犠牲にすりかえる態度は許されるべきでない特に本学二部学生の経済的能力は三十七年度の授業料値上げにおいて限界に達しているといわねばならない。これ以上の値上げが断行されるならば、一般勤労学生は、経済的に行きつまり本学二部への入学は断念せざるを得なくなるのである。そして、本学二部の伝統的性格は失なわれ、事実上二部落第者のよせあつめとなるのであるこうした経済的な授業料支払能力は一部においても変わるものではない。

私学経営において授業料の額は、各大学の在学生の出身家庭層に対する考慮なしに決定されることは許されるべきでない。本学の場合平均して、中流以下の階層が大半を占めておりおのずと、他大学の授業料額を比較し得ない条件がある。しかるに、今回のような形でこれ以上値上げされるならば、学生はいちじるしい学歴からのしわよせが、日常生活の上にのしかかり、学業に専念できる学生は、ほとんどいなくなるのである。二部となれば、その状態は火をみるより明らかであり、よしんば入学したとしても、学費支払いに追われて、その生活は今以上に悪化し、健康はいちじるしく害されるであろう。この結果は何を意味するかいうにおよぶまい。

現在の私学が置かれている立場は、もはや過去の私的自由教育のそれではなく社会的公教育の重要な位置を占めているのである。この事実はもはや何人も否定し得ないはずである。にもかかわらずこうした授業料の値上げを行なうということは、前述の事情から考えて、あきらかに、私学自からの立場を放棄することではあるまいか、いや、それ以上に、われわれが基本権利として本来持っている教育を受ける権利を、事実上剝奪することではないか。

われわれ二部学生は、本学理事会が強行しようとする授業料値上げに対して、われわれのギリギリの生活権を守るために闘うものである。そしてこの闘いの中で今回の授業料値上げが私学経営の方法において、また手段において如何に、横暴かつ陰険な陰謀であるかを告発し、社会的な世論へも問うを辞すべきでない決意を明らかにしておきたい。

すでに学友会では、この事態に対処すべく、値上げ反対の意志確認を為したのであるが、時を移さず闘争委員会の組織化を急ぐと共に各パート間へも強力な呼びかけが始まる前期試験期間中に理事会に聞こられないよう、強力な一般学生へのアピールなどによって十分な値上げ反対の盛り上げを図り、反対闘争をいたずらに長期化しないよう提案したい。

大会決議無効を告示

会費値上げ問題にケリ

会費値上げ 無効の告示

告示

先般開催された春季学生大会において提出された議案、学友会費値上げに関する件は学友会々則第五二条に抵触するので法的手続上不備であったので決議は無効であったことを右告示する

昭和三十九年九月十六日

関西大学二部学友会
執行委員長
木原成人

さる九月十五日、学友会執行委員での「学友会費一百円の値上げ」に関する決定は無効であると発表した。

六月二十三日に開かれた春季学生大会において上提された学友会費値上げの問題は、賛否両論はげしく激突するなかで同決議に対する無効を主張する署名運動などの一部の抗議運動が展開されていた。その署名運動は夏季休暇前に約千名に到達、学友会会則の改正の準備を進めていた。彼らの今後の動向が注目される。

評議員改選

任期満了にともなう評議員の改選は四月から入選がすすめられていた。八十六名の新評議員が決まった。任期は十月一日から向こう四年間で、関西大学の運営の重要問題を審議する。新評議員の構成は次のとおり。

（1）大学教育職員のうちから選考された評議員。
池垣定太郎教授外九名。
（2）一高教育職員のうちから選考された評議員　黒岩閃氏
（31）一中教育職員のうちから選考された評議員　吉富　二郎氏
（41）事務職員のうちから選考された評議員　秋山剛圭氏外四名
（51）校友のうちから選考された評議員　赤井常隆氏外四九名
（61）学識経験者のうちから選考された評議員　阿陪甚吉外九名外に学長、五学部長、高等学校長、中学校長、幼稚園長の八名である。

記者の眼

久井理事長が暴言

（同三十月の通告の際）などで、久井現理事会が、われわれの授業料値上げをいかに安易に考えているかを示すものであり許すことはできない。

◎…フルシチョフ首相は新兵器を発表、ジョンソン大統領は防衛予算を増額。一国半金、全世界の人々は顔色変えて耳を傾けたり目を輝くしてのぞき込んだり、顔の表情を変えるのに忙しい。何の因果か関大久井理事長も学内記者団を集めて新発表。「学生諸君、特に私学に学ぶわれわれも現在の私立大学のあり方を理解しその矛盾を是正するよう努力しなければならないと理事長はいう。この運動に学生も教授も、大学運営者と協調して展開した方がいいと考えるのは学生だけか。

○…理事長の任期はあと数日、「授業料値上げはやらない」と学生ホール会議室で緊急自治委員会が行われる。過去数回の流会という醜態を反省し、強力な反対運動の展開されんことが望まれる。

〝〝〝〝〝〝

学生の立場に立って良識ある決断を下してほしいものである。

○…夏休み明けの学友会、余りにも長い空白期間があったため、コンディションを整えるに苦労の続出、執行部が足並みをそろえて歩みかけると、自治委員がソッポを向く、自治委員はどうせ

○…第七回葉の楽文化祭、応援団長助成に積極的に取り組んでいる反面として問けることを記者はほのかに期待したが無理だった。ではこの記者会見の裏面に何があるのだろうか?。

最後の締めくくりをして新理事会で再出発をけっこうなことであるが、残り少ない日だけでも

自治委員の良識乞う

学費値上げに

表であることをこの機会に再度自覚願いたい。

最低限授業の休み時間に簡単な報告会ぐらい開いてほしい。

自治委員の資格を取るのが目的なのではなく、自治委員として活動することが目的であるべきはずである。

○…第七回葉の楽文化祭、応援団二十周年記念祭、第二十二回学際単独公演などクラブの積極的な活動は目を見はらせるものがある。二部学友会、関西大学としてもこのような活動は誇り得べきことである。しかしこれに満足することなく、また時間的な制約のなかの活動の限界に甘んずることなく益々努力してもらいたいものである。

◎…このような積極的クラブ活動と低滞を示す学友会の活動が連合して行なわれる学園祭、まだ執行委員会の議題すらになっていないがそろそろ腰を上げても遅くない頃である。

学費値上げ、学園祭と秋の学友会の問題は大きものがある。われわれも動労者でなく学生であることを再確認し実りのある秋にしたいものである。

今回も流会だろう」悪循環が繰り返されている。

後日、理事会は赤字財政解決策として授業料値上げを発表し、関西大学としてもこのような活動は誇り得べきことである。しかしこれに満足することなく、また時間的な制約のなかの活動の限界に甘んずることなく益々努力してもらいたいものである。

学園春秋

▼例年にないハイ・ペースで行なわれた本年度の自治委員選挙、新執行部の誕生は〝学友会活発化〟に期待するわれわれにとって大いに明るい材料であった。それに加えて新執行部発足当時の木原委員長の「本年度はあらゆる面での学友会諸活動の飛躍の年にしたい」との弁も、意欲的な、いわば前向きな姿勢で学友会をもり立てていこうとする意志表示であったにちがいない▼しかし、前期も、はや期末考査に入っている現在はたして本年度上半期の学友会活動がそれほど意義のあるものであったかどうか反省してみることも必要であろう。六月二十三日に行なわれた春季学生大会では学友会費の値上げが、ほとんど執行部の独だんで可決された▼もっともこの件に関しては、つい先日学内掲示板に「学友会会則の条件を具備していなかったためこの決議は取り消す」との実に面白いはり紙があった。この会則言々については本年度第一回自治委員会（五月六日）でも、一もんちゃくあり、自治委員と執行部が今度会則をもっと勉強しましょうと申し合わせた事実もあるのだから。直接関係はないにしても、思わぬところで、藪穴を掘ったものだ。▼しかし執行部のオエラ方ばかりを、どうこういうのではない。その底辺には一般学生のふがいなさが大きく根ざしているというのだから、これまた大いに笑わせる学生大会があれば授業がない、授業がなければ用はない、委任状に署名してすたら帰るのだから、始末が悪い。▼良きにつけ悪しきにつけもっと以上、執行部の一人相撲は見るにたえない。大学は大人の集まりだ。お互に協力し合って民主的な学園社会を自分たちの手で作り上げるところだ。大学生の質の低下などとかくうるさくいわれる現在、特に考えてみなければならないと思う▼ともあれ前期も残り少なくなった。後期には学園祭、それに授業料の問題も出てくるだろうといわれている折から執行部、自治委員ならびに一般学生のみなさん、三位一体、明るい学園を作るため、各自、まじめに反省し、後期の諸活動に臨んでもらいたいものである。

五学部長内定する

十月一日に発令

九月十五・六日の理事会で寄らしの五学部の部長並びに部長代理が内定した。

氏名は次のとおり、カッコ内は旧部長。

法学部長　福島四郎教授（伊沢孝平教授）
経済学部長　杉原四郎教授（釘方良亮教授）
文学部長　樋口健一教授（吉水　豊教授）
商学部長　高田忠男教授（河部　駿教授）
工学部長　香取雲三郎教授（同任）

法学部代理　池垣定太郎教授
経済学部代理　荒井政治教授
文学部代理　藤本　晃教授
商学部代理　広田司郎教授
工学部代理　前田春賀教授

なお寄らしの部長は十月一日付で発令される。

社　告

このたび新報社では左記の通り役員を改選致しました。今後とも支援とご協力をお願いいたします。

記

主　筆　水上　義博
編集局長　丸田　一正
総務局長　市川正次郎
論説委員長　千神　国夫
報道部長　幸野　博
整理部長　芝原　伸一
学芸部長　岡田　泰宏
国際部長　鶴田　耕三
経理部長　岩永　忠正
庶務部長　長谷川　義則
監査委員　川瀬　英則
〃　平岡　武
発行人　千神　国夫

現代の新中間層　D・ロックウッド　B6判　九六〇円・〒100
イギリスのホワイトカラーの労働組合に対する反応、経済的地位、職場の諸関係、社会的地位の変化が、その階級意識や、組合活動の面にどう影響したかを精密に分析
イギリスのサラリーマン

日本のホワイトカラー　土屋　清監修　一五〇〇円・〒100
調査に現われた生活意識

新時代の胎動　高垣金三郎著　B6判　四八〇円・〒90
現在の国際情勢は、ヨーロッパとアジア、アフリカを中心とするナショナリズムの現実を知らなければ理解できない。本書は、この問題に正面から取り組んだ労作。
ヨーロッパのナショナリズム

ヨーロッパの政治と経済　W・リップマン　一八〇円・〒35
ヨーロッパ合衆国　W・ハルシュタイン　三三〇円・〒70
挑戦と機会
EECとヨーロッパ労働組合運動　佐藤　進著　四四〇円・〒90

新しい数学の構造　I・G・ケメニー他　A5判　一五〇〇円・〒100
巧みな例題や練習問題を収めた現代数学の解説書。文科系の学生をふくめたすべての学生に数学をという世界的要望を背景に書かれたもの。大学生、高校教師に絶好。

東海道新幹線　加藤一郎監修　新書判　三五〇円・〒70
—高速度社会の科学—

東京都千代田区霞関3—3　電503-1211　振替東京25976　ダイヤモンド社

新刊書籍・各種雑誌
大学書房
杉本町駅前（バス通り）
TEL (692) 0721

住友のラッキーちゃん
街かどに…あなたの銀行
住友銀行

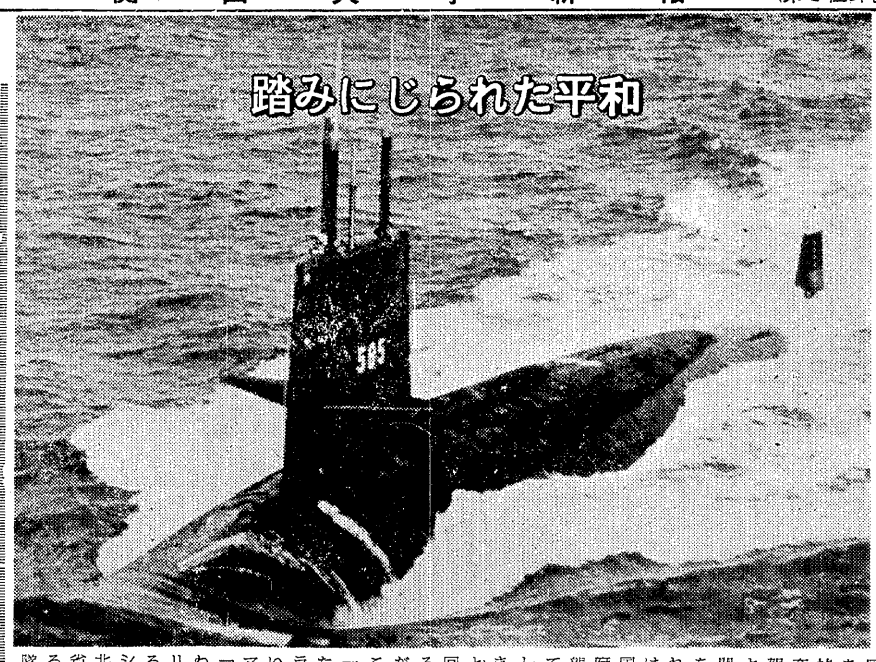
Symbol of Good Quality　TANCHO CO., LTD
いづれ
こがらしも吹こう
引きしめよう　心とスタイル
丹頂チック
丹頂株式会社

極限に来た米アジア政策

原子力潜水艦寄港阻止

八月二十八日、金曜日政府は、この日過去二十ヵ月にわたる国民世論の重要な注目であった米原子力潜水艦寄港要請をきめ、米国側に正式回答を送った。この日は国会閉会中であることをねらった、〝急〟な決定であった。党首会談を要求して首相官邸に待ちうけた河上社会党委員長を首相は逃げるように振り切ったという。およそ政府の決断による重要案件のなかで、これほど陰気な決定は、ここ数年―安保―の間見ることはできなかった。

この政治的決定の中には為政者としての気概もなければ恥じをも存しない。あるのは暗然たる重圧感と、それそのものからの逃避的政策のみが存在し得たのである。われわれは、われわれとわれわれの子孫のために、この政策の実体を明らかにし、かつまたその政策の根底に位置し、誤ったその政策から〝利〟を得るもの。を明らかにせねばならない。



寄港の戦略的意義

〝対中共政策〟

政府がこの時期を選んだのは、一方国内における革新勢力の原水禁大会における分裂による反対運動を最少限に押えることができるであろうという見通しの上になされたものである。しかし、この政府の見通しの上に誤算があった。この日（二十八日）早くも最初の寄港予定地とされる「佐世保」では、社会党、共産党地区労が統一実行委員会を結成し寄港阻止の統一行動を組織した。

つづいて翌日（二九日）には、横須賀で寄港阻止のための集会が開かれ、九月一日には東京八十七の団体が、原潜阻止、安保共闘再開などを提唱した。つづいて三日社会党、総評は中央集会を開き、全国の県労評は社共共同の統一運動を展開し、十日には地元で社、共、地区労共同の共闘の上に立った神奈川、長崎の民主勢力による横須賀、佐世保大集会を開いた。このような中で県段階で八県が安保共闘を中心とした実行委員会が組織された。このように原潜阻止の運動は、わずか十日あまりの期間で全国的な運動へと発展している。政府の慎重な配慮にもかかわらず事態が、政府の思惑どおりに展開して行くかどうかは、きわめて疑わしい。

また、その意図がインドシナ情勢との関係において、米国と政府の回答はすべて否定の形をとっている。しかし、インドシナ情勢と原潜が時間的前後如何にかかわらず、こんどの寄港承認が米極東政策の一連のものであることは動かしがたい。米核戦略は六十一年以後ポラリス戦力に重点を移しているという。今年の年頭に送ったマクナマラ米国防長官の議会報告でも、「六十五年度から六十九年までのわが国の戦略はミットマンとポラリスを主軸とする計画となっている」と話している。また、インドシナでの不利な米戦線は、米機の北ベトナム攻撃後、中共の南部諸省では民兵の演習が行なわれている。ここでは、第七艦隊の行動が〝反帝〟の団結強化のところで米政府の寄港目的が「乗組員の休養とレクリエーション、物質補給などだけにあるのなら日本の国民感情を刺激してまで米側が寄港に固執する必要はあるまい」という見方があるがこれは全く本末を転倒しているのである。米政府の寄港目的は「乗組員の休養およびレクリエーション、ならびに兵たんの補給および維持にある」と書かれている前書にその重要性を置いてみれば単にそれだけの意味なのであるが兵たんの補給とは、作戦目的を遂行するための軍需品の補給に万全を期するための意味であり、単に食糧や水を積みこむことを意味するものではない。

すなわち日本を作戦基地として使用することを意味するのである。原子力の開発は、過去にあった戦争体験をくつがえし、一度補給すれば、人間を孤独にたえ得るならば二年二三年間の潜水が可能になり、ほとんど無制限に近い作戦攻撃を可能ならしめたのである。中国封じ込めの一環をこれらの潜水艦が担っていることは明白な事実であり、この政策の推進力となっている第七艦隊に配備されているのはスレッシャー、タリビン、ノーチラスといった攻撃用潜水艦で、ポラリス艦は、その性質上、その主力を北極海に展開している。これに関し先のモスクワ発UPI電は「ソ連は核潜ノイの開発を完成した、また北極海に米のポラリス艦は、十二隻に達したと伝えている。

また北大西洋海域で九隻あるといわれ、うち三隻は地中海に入っているとされている。ところで米国政府覚え書が「安保条約がある限り、原子力潜水艦といえども、その寄港は当然であって事前協議の対象とはならない」と述べている。これも米国の安保体制下の立場としては当然のことであろう。

にもかかわらず米国は「日本国民」の原子力化は米戦力の近代化であり、その寄港がただちにトンキン湾事件と結びついているとする見計であろう。

米国は現在射程四、五百〝の〟のポラリスA3型をもつ〝ジエル・ブーン号は米半島々に完成するグアム島を基地としている。これの日本寄港の可能性を米国は再三否定している。ポラリス艦は隠密性の上に成り立つ兵器である。存在によって意味をもち、存在位置を失うことによって戦略価値を失うという点もある。ポラリス艦は〝最後の抑止力〟ともいえるようにその核のもつ意味を失うとの恐れがあるとの見方もある。

太平洋では直接〝中共封じ込め〟に連なり、南ベトナム、ラオス、での戦況の悪化に関して、対共産圏への無言の圧力と解すべきであろう。

このような現代で、もっとも原始的なものは人間ではないだろうか。幾千年前とほとんどかわらない感情をもちつづけ、それらを集録して、一日ごとにふえる規則、制約などに自分自身とおたがいをしばり合っているのだ。そして私たちの都会生活においては、私たちの足を大地から引きはなそうとしている。明るい太陽の光や新鮮な大気からも、しゃ断され、ただ人工の光線や湿度の中で、ひしめく人口の中で、わずらわしい人間関係に神経をすりへらすことを余儀なくされている。

人間の肉体、精神は貧弱になり動物は次第に浸食されていくようだ。そしてそれを思うたびに私は「人間」の有機性というものに深い愛着と、興味を感じる。

「人間」というものの正体を知りたい。他の周囲の人を知りたい。そして自分自身の生活において、顕微鏡を通すように明確にとらえてみたい。（愛）

古代への郷愁

東海道新幹線は東京―大阪間を四時間で走る。今度のオリンピックでは通信衛星を使って、アメリカ各地でもテレビの実況中継が見られるという。科学文明の目ざましい発達は私たちの目にも驚異ものに映る。人間は人間の想像を超越するようなものを創造する。

安保というものの再認識

核被害国から核の国へ？

材料に利用されたとの感強が深い一方ハノイでも士気高揚の大衆の大集会が開かれた。米国がポラリス潜水艦ダニエル・ブーン号の初の太平洋配置を発表し一方日本政府が一年八ヵ月米の駐米にケリをつけて原潜寄港要請回答にふみ切ったのはまさにこの時であった。米国は六四会計年度米自三隻の攻撃型潜水艦（ポラリスを除く）を持ち、このうち二十三隻が原子力となっている。そのうち十隻が第一、第五、第七艦潜水艦隊に編入されてすでに太平洋にある。何隻が第七艦隊にあるのかは不明だが、いずれにせよ、同艦隊所属の非ポラリス型原潜の寄港が求められているわけである。

九月一日海原防衛庁局長が〝すべて核弾頭を使用していることを明らかにして急に問題の焦点に浮び上がってきたサブロック（ロケット魚雷）は元来核兵器として設計されたものである。

その射程が三十ないし五十〝となることは、爆発のさいの影響をさけるのに有効であり、またこのことは中国沿岸攻撃さえ可能となるということはまぎれもない戦略兵器である。弾頭が核ならば・ベンキン湾事件のような限定地域には使用できない。しかし、いずれにせよ寄港に際して核装備の有無を確める方法はない。

結局アジアでは、米原潜は中共にとって大きな脅威となろう。またウラジオストックを基地とするソ連の行動をも大きく規制するであろうといえる。二十八日のモスクワ放送が日本の寄港要請について「原潜を日本の基地に入れることは、アメリカのアジアでの新たな冒険を鼓舞する原因となることは明らかである。ソ連としても必要な防衛措置をとらざるを得なくなるであろう。」と非難した理由はここにある。

今の時点で言えることは潜水艦隊の原子力化は米戦力の近代化であり、その寄港がただちにトンキン湾事件と結びついているとする見計であろう。

米国は現在射程四、五百〝の〟のポラリスA3型をもつ〝ジエル・ブーン号は米半島々に完成するグアム島を基地としている。これの日本寄港の可能性を米国は再三否定している。ポラリス艦は隠密性の上に成り立つ兵器である。存在によって意味をもち、存在位置を失うことによって戦略価値を失うという点もある。ポラリス艦は〝最後の抑止力〟ともいえるようにその核のもつ意味を失うとの恐れがあるとの見方もある。

太平洋では直接〝中共封じ込め〟に連なり、南ベトナム、ラオス、での戦況の悪化に関して、対共産圏への無言の圧力と解すべきであろう。

いま政府にとって重要なことは日本は米国が敵視し、その脅威を強調する中国に対し、米国に基地を提供することにより敵対行動をとりその体制を強めているが、それが果してアジアの平和につながるものであるかどうかを見極めることである。国民側に中国を親和する気持がないのに、アジアの緊張を激化し、核戦争の危険をならむ原潜をなぜ認めねばならないのか。潜水艦の安全性もさることながら日本の求める平和と米国の求めるアジアの安定との共通点をどの次元に定めるかということが必要ではなかろうか。

生協運動その後

いよいよ本格的な軌道に

まずホール内に販売部

今までの経過

昨年の新聞自治会でキャンペーンをうった生協問題は学友会の活動方針にくみ入れられ、一部生協の動きかけもあって、生協設立の方向に着々と進んでいる。

新聞自治会でキャンペーンをとったとき、池田政府の経済政策で物価は天井を知ることのないままどんどん上がり、授業料上り、学生の経済生活はますます苦境に追われていた。その経済的苦境の中で学生はお互に手を握り、助け合わなければという互助精神が必然的に生まれたのである。そして当時活動の方向を見失っていた学友会はこのような学生の意志をきっそくくみ取り、生協設立の方向へ前向きの姿勢で努力するようになった。

今年になって、新執行部は生協の設立を活動のスローガンに掲げ、自治委員会で生協設立準備委員会を設置した。そしてこの委員会で生協の調査が始まり、全国の各大学の生協の実情調査、一部の生協の調査などを行ない生協設立の準備が進められてきた。春季学生大会で生協設立を決議し、生協設立の準備は具体化しはじめたのである。このような時期に一部の生協が、二部の一部への加入を積極的に取り組もうとになり、生協設立の具体的方向をまだ持っていなかった準備委員会に一部の生協の運動の中へ一部の準備委員の運動をくみ入れ、両者が合体して今後の運動を展開することになった。ところが一部生協組織部でも生協の運営形体の変更、一部自身の光熱水費を学校側に負担させる運動のため、取組みはやや遅くならざるを得なくなり、また

全学的運動として発展させよう

二部準備の個人的理由が重なり夏季休暇中は活動がほとんどストップしていた。

しかし九月になってからは再び活動が始まり、とりあえず学生ホール一階に一部生協の購買部が出張してPRをかねた市場調査段階に入った。

ところで今後の生協の活動の方向を考えると、さる六月三日、生協設立準備委員会が行なったアンケートの結果を分析してみる必要がある。

調査の分析

この二部学生生活実態調査は六月三日第一、三限目に任意抽出法により、全学生四千余名の中から約一五パーセントにあたる六百名を抽出して実施、五百七十一部を回収した。このアンケートでは抽出法と個別答に多少の欠陥があったが二年前の経済実態調査以来の調査であり、その集計の結果は非常に大きな意味をもつものである。

月収一六、八〇〇円

この経済実態調査によれば収入状況は月一万四～七千円の学生が一番多く全体の約三〇％を占め、一万七～二万が一九％、二万～二万三千が一八％となっている。全体の平均は一万六千八百円となり二万円以下が全体の約七〇％である。

勤労学生が九八％を示め、そのうち八八％が定職をもっているという学生構造の現状から他大学に比したら高い割合というようが、半数以上の学生が生活費を一〇〇％自己の所得でまかなっているのであり、経済生活は苦しいことが想像されている。そのため三〇％余りの学生はなんらかの形で援助を受けながら生活しており、つまり定職をもちながら、自己の収入だけで生活できない学生が多数いるのである。

味のまずい食堂

次に二部学生の厚生施設の最も重要な佐伯食堂について、満足している学生は八名と全体の二％にも満たない。ほとんど全体の学生は不満をもっている。これは重要な問題である。なぜなら、この食堂を九四％の学生が利用しており、その中で三度の食事の一食をここを利用しているのが三六％もおるのであるから、放っておける問題ではない。その上、昼は職、夜は勉強と体力に気をつけなければならないのに食堂がこのような情況では二部学生の死活の問題である。

学生の食堂への支払をみると月約千円以上の学生が三十四％、二千円以上が十一％。利用者の半数以上は千円余りを佐伯食堂に消費しているのである。確かに安いことは事実であるが、栄養の度合が安いと比例しているのが現状であろう。これでは学生の身近に食堂を施けて、厚生施設と名を借りているだけであるといえよう。

これは解決できない問題だろうか。学生はこれを与えられた厚生施設として受け取っているだけでは解決はできないのは明白である。積極的にその改善にのりださなければならないのである。

昨年、教育部が関東の大学を訪問した際関東の各大学では生協が経営する食堂が栄養価値のあるものを安く学生に提供していると報告している。一部では今まで生協食堂と一般業者の食堂が同時に経営しており、業者の食堂が客である学生を生協食堂にとられて、店を閉めざるをえなくなっているとのことである。

ではその理由は簡単にいえば生活協同組合で食堂を経営することにより、不当な利潤を排除しているからである。組合の要求に応じたものを組合員の生活を守るために安い値段で提供しているのである。

八割が生協を要望

学友会が現在取り組んでいる生協について、学生の七割九％が生協を設立する必要があると感じている。この要求は物価値上げ、学費値上げと八方から締めつけられた学生の経済生活の苦境からの叫びである。ここで考えなければならないのは商品を安く買うだけでわれわれの経済生活が解決されないということである。それだけならスーパーマーケットに行けばよい。その裏にはこれから解決しなければならない多くの矛盾を含んでいるのである。われわれは生活協同組合を通じて、相互扶助の精神のもとに団結してあらゆる社会の矛盾に対決していかなければならないのである。

今後の方針

アンケートの結果からもわかる通り、学生の経済生活は今窮地に追い込まれている。だからこそ、是が非でも生協がわれわれにとって必要なのである。

学生ホール内に設置される一部生協の購買部による仮販売所を基盤に、近い将来全面的に生協体制に整くため、準備委では地道な活動を続けるであろう。

「生協に入るのはあくまで学生自身」なのであるから、こんど設置される販売所や生協に対してあらゆる意見や希望、は委員会に申し出て、本当に満足のいくものを作らねばならないのである。委員会でもそれを一番望んでいるのであるから。

そしてこの運動を全学的なものとして盛り上げた中からこそ、生協の誕生は可能なのである。

葦の葉文化祭

二十日盛大に挙行

恒例の第七回葦の葉文化祭は九月二十日朝十時から、本町御堂会館で行なわれた。

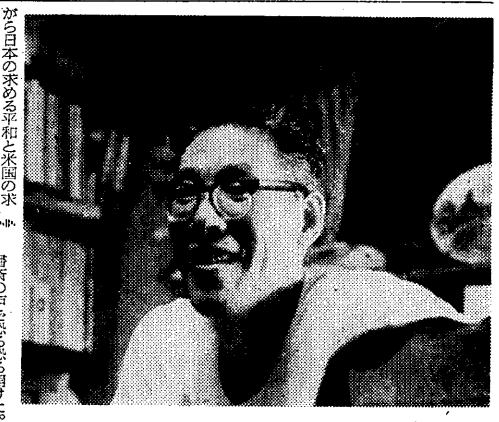
文化祭は沢辺文化部副本部長の開会の辞につづき、邦楽部が琴・吟「中庸」「本能寺」他を吟じ、民舞部は安来節・花笠音頭等をうたい、平素の活動の成果を発表した。

このあと学友会執行委員長はじめ学部長代理、校友会、教育後援会代表の挨拶につづき、クラブ関係者の祝辞、記念品贈呈が行なわれ二部学生であるというハンデーをのり越えて盛大に催されたこの文化祭を踏まえて今後益々研磨親睦し、文化会が発展するよう激励した。

次に琴音楽部の演奏が行なわれ、休憩、つづいて行なわれた一部文化会の資助出演による落語が満場の拍手を呼んだ。あと学窓座の映画「人間裁判」の上映、リード・クランツの混声合唱、吉典演劇部の文楽「艶容女舞衣」などにつづき再度邦楽部などが登場、例年にない充実したものを演じ、八百余名の観衆を満足させた。

最後に映画「大いなる西部」が上映され、七時五十分文化祭の幕を閉じた。

【人気を博した経音の出演】



教授

鈴木祥蔵

すずき　しょうぞう

文学部教授

書斎の戸を恐る恐る開けた。迎えてくれた教授の顔が目に入るよりも、三面の書棚の上に雑然とうまれた本のにおいが印象的であった。

―一部と比較して実力は？

――時間が少ないのですよ。現在の制度では専門家にはなれませんね。卒業して十年間、みっちりと自分で一つの専門を勉強することです。そのために大学では、学問の方法を確実に身につけておく事が必要なのです。教室の講義は講義をしているというのではない。静かに話しかけている。面白い。声が通りにくいという難もある。だから文学部での講義はほとんどあまり大きな教室を使用することは少ない。

――講義中の二部学生の感じ。

――やりやすいですね。まじめで。

本学教授陣の中でかなり大出身大学院の時感じ、満州出征、終戦の時、ソ連軍によって武装解除され、二十三年送還されるまで捕虜生活を送った。

水戸光圀の〝あればあるにまかせて悟と楽しみ、なければなくにまかせて安所たり〟という言葉に感じて学生時代、わずかのものをわけて食べることを実・践。まず成功だった。しかし、軍隊生活の中で、〝だければなくに負かせて〟安所たることはできなかったという。極限状態におかれた時、インテリの弱さを身にしみて感じた。結局、人間の基礎は生産労働の中にあるのだという。マルクスに目ざめたのもこの時。戦争をいやというほどあじわい、戦争は絶対に反対。しかし、自己の経験は決してむだではなかった。

現在の鈴木教授の学問的立場はこの時に決定すけられたものであろう。といっても最初からマルクスを専門に研究したのではなく出征前はヘーゲル等のドイツ観念論を研究した。観音教等仏教哲学にも造詣が深い。

――学問の発展は歴史を否定してはあり得ない。マルクス自身にしてもドイツ観念論を基礎にしているのですよ。

革命は新しいものと滅びて行くものとを意味している。しかし新しいものも以前から社会的に必要なのであって急に飛出してくるものではない。

――最後に学生の政治運動

――教育基本法に認められていますよ。しかし今の状況、困りもんですね。今までの失敗を徹底的に討議して、運動の良い歴史は受継ぐべきですね。

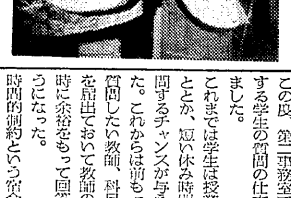
たしかに。他人事ではない。ちょっぴりいたかった。この点は学生に対する批判は厳しい。しかし学生の弱みは気易すく引受けて良く話し相手になる。革新的な学生には絶対的な人望と人気がある。家庭は三児のパパ。良くお孫さんですかと言われる、奥さんが娘になった事もある。自慢で損をすると言って笑っている。

人間性を追及

22回単独公演「人間裁判」

学窓座

〔「人間裁判」の二コマ〕



二十二日（木）全学部四年次
二十三日（金）全学部未受診者
二十六日（月）全女子学生
二十七日（火）全女子学生
午後五時～八時十分まで
一、場所　十九日～二十三日　体育館
二十六日～二十七日　医務課
なお指定日に受診できない場合は期間中都合のよい日に受診して下さい。

第二事務室

左記のとおりお知らせします。

一、九月三十日（水）前期授業終了
十月一日（木）・十三日（火）前期試験
十四日（水）・十五日（木）試験休み
十六日（金）後期授業開始

一、講演内容について質問が生じたときは、教室において質問するのが当然であるが、時間的な制約により支障があるため、質問の場を左記の要領で実施する。

記

一、手続、所定の用紙（事務室備付）に記載し事務室に申し込むこと。

一、条件（一）学生の教員に限る。（二）視聴覚を提出した科目で

盛大に合評会

学窓座第二十二回単独公演合評会は九月十六日夕七時から有楽館会議室でスタッフ・キャストはじめ四十名余りの参加のもとに行なわれた。

演劇が明日行政訴訟の実態をよくあらわしていた。これらの社会問題に対して闘う姿勢が組織の中でできているのが観衆に感動を与えたのだと批評された。最後個々の演劇に対する批評を行ない、十時に合評会を終った。

団応援

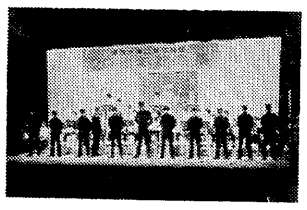
盛大に行なわれる

二十周年記念祭

本学二部応援団の二十周年記念祭は、去る九月十二日、午後六時から本町の御堂会館においては、多数の学生、一般の人々の参加を得て盛大に開かれた。

プログラムは全部で三部にわけて行なわれ、第一部はブラスバンド演奏が是立君の指揮により、行進曲、序曲などの演奏で始められた。第二部は各関係者のあいさつがあり、その後、空手道部の出演による「技の紹介」「試割り」などがあり、また、応援団お得意の乱舞など、熱のこもった演技に満員の観客席からは歓声と拍手がまき起こり、最高潮に達した。このあと第三部は再びブラスバンド演奏、リーダー・クランツの合唱などがあり、最後に大合唱歌指揮によるマーチ「ハイデックスブルグ万歳」の演奏とともに九時二十分二十周年記念祭の幕を閉じた。

【二十周年記念での一コマ】



西日本硬式野球大会に出場していた、本学野球部は、八月二十六日の第一回戦において近大附属高校に惜しくも敗れ、二十七日準決勝に進出、経大と対戦したが、連日の雨で打撃振るわず、2―1で敗れ惜しくも決勝進出はならなかった。

質問カード設定

各部事務室で申込み

この度、第二事務室では教師に対する学生の質問の仕方を形式化しました。

これまでは学生は授業の終ったあとか、短い休み時間中にしか質問するチャンスが与えられなかった。これからは前もって事務室へ質問したい教師、科目、質問内容を届出ておいて教師の手のあいた時に余裕をもって回答を受けるようになった。

時間的制約という宿命を持った二部学生にとって教師に接する機会を与えようとする事務室の考えも、届出という手続が煩わしいためかまだ利用者がない。事務室はこの機能を学生がフルに利用するよう望んでいる。

学内告知板

▼第二学生課

秋季健康診断実施について

左記の通り健康診断を実施しますので、必ず全員受診して下さい。

記

一、日時　十月十九日（月）
二十日（火）全学部一年次
二十日（水）全学部二年次
二十一日（木）全学部三年次

第二事務室

左記のとおりお知らせします。

一、九月三十日（水）前期授業終了
十月一日（木）・十三日（火）前期試験
十四日（水）・十五日（木）試験休み
十六日（金）後期授業開始

一、講演内容について質問が生じたときは、教室において質問するのが当然であるが、時間的な制約により支障があるため、質問の場を左記の要領で実施する。

記

一、手続、所定の用紙（事務室備付）に記載し事務室に申し込むこと。

一、条件（一）学生の教員に限る。（二）視聴覚を提出した科目であること。

一、場所、相談室は三断教授室。なお申込者との連絡はすべて掲示で行う。

図書館より

改装中であった閲覧室が完成しました。閲覧室は希望の本を自由に選択できます。閲覧数も六〇席と増え長くご利用いただけます。閲覧室は二階、一階閲覧室は平日十時～二十一時。閲覧室の貸出は図書閲覧券で二冊、一週間することができます。貸出は図書閲覧券を提出して下さい。

喫茶・洋食
囲碁
将棋
ビリヤード
ロン
天六交差点北入
TEL(371)0068・7888

完全なサービスのあなたの店
学生証持参の方に限り
全商品２割引のサービス！
貴金属・時計とメガネの店
関大正門通
市川時計店
TEL 351―9064

関大地階
佐伯食堂
ぜひ皆様の学内食堂へ